



山陽スピリッツ ニュース

2016(平成28)年2月19日

学校法人 山陽学園

広報・山陽スピリッツ推進室 発行

上代淑は 日本初の女性校長？！

いよいよ創立130周年を迎える山陽学園。この学園を長きに渡り支えた上代淑(かじろよし)先生を知っていますか？実は、上代淑が日本初の女性校長ではないか、と表した人物がいます。その人物は今話題のNHK連続テレビ小説『あさが来た』の主人公白岡あさのモデルである広岡浅子です。

1910(明治43)年、広岡浅子は山陽高等女学校へ来校し、講演を行ないました。その講演の中で「日本で女子にして校長になって御出でなさいます方は恐らくは(上代)先生御一人であります」と語っているのです。

なぜ山陽に「あさちゃん」が？

広岡浅子は幕末から大正を駆け抜けた実業家です。両替商、石炭業、銀行や紡績業に携わり、保険会社まで設立。そして、晩年には日本初の女子大学設立に資金を援助、御殿場の合宿では女性の新たな生き方を示しました。

広岡浅子が山陽高等女学校に来校したのは62歳の時、日本女子大学が開学してから10年が経とうとしていました。

山陽高等女学校では37歳で上代淑が校長に就任にしてから2年が過ぎていました。浅子の来校講演の前年には、大河ドラマ『八重の桜』の主人公だった新島八重も来校して講演しています。八重もまた浅子と同世代。激動の時代を生き抜いた女性で、看護師として活躍しました。

上代淑、広岡浅子、新島八重、これら3人に共通する関係者として、山陽学園大学副学長の濱田栄夫先生は、成瀬仁蔵、宮川経輝、澤山保羅を挙げています。この3人は、ともに新島八重の尽力した同志社英学校出身であり、梅花女学校を設立しました。その梅花女学校へ通っていたのが幼い頃の上代淑で、成瀬仁蔵に学びました。成瀬仁蔵はのちに日本女子大学の設立者となり、広岡浅子に設立援助を求めます。上代淑は梅花女学校時代、13歳で宮川経輝から洗礼を受けますが、広岡浅子もまた63歳の時、宮川経輝から受洗しています。

若き女性校長という重圧に上代淑は思い悩む日もあったかもしれません。そんな時、手を差し伸べてくれたのは幼い頃から関わりのあった周囲の人々だったのではないのでしょうか。そして生徒らと共に、己の力で時代を切り開き社会貢献を果たした女性たちの講演を聞いて、自らを奮い立たせていたのかもしれない。

日本初の女性校長

明治期に活躍した女性教育者10人を選び、校長に就任した年を調べた結果、1889(明治22)年に女子学院(東京女子大学に統合)で矢島梶子が初代院長に就任していた。1908(明治41)年に校長に就任した上代淑は創立に携わっておらず、他校との兼任でなく校長に就任した。当時としては珍しい例である。



上代 淑(かじろ よし)
米国マウントホリヨーク卒業時
1897年(明治30)年 26歳頃

誰のため何のために学ぶのか

上代淑の命日がある11月、山陽女子高等学校の1年生に向けて前校長の熊城逸子先生が特別授業を行ないました。上代淑、広岡浅子、新島八重の3人の生き方を取り上げ、特に上代淑は「家庭環境も経済状況も満足ではなかったが、周囲の大人たちの愛に包まれて、寂しさを祈りで乗り越えた少女期であったのではないかと語りました。そして、新島八重が講演で「この(山陽高等女)学校にお学びになったことが、社会に有益な事をなす基となるように」と望んだこと、広岡浅子は「高等な教育を受けた時は、一人の為のみならず一国の為であります。どうか御勤め下さることを希望いたします」と講演を結んだと紹介、授業の最後は現在の日本人女性の社会進出問題に触れました。

授業を受けた生徒は次のような感想を述べました。「さまざまな環境の中で自分が正しいと思う道を貫いた素晴らしい女性3人が山陽でつながっていたことに何か縁を感じた」「3人には教育に対する共通の気持ちがあって、当時の社会を大きく変えた。この時代に生きていたら勉強する喜びをかみしめていたと思う」「自分から行動を起こすことで、日本の女子教育を変えた女性たちを知って、私にも今の日本を変えるために何かできるのだろうかと考えた。今まで自分のためだけに勉強していると思っていたが、それは間違いかもしれない」

またインターンシップとして山陽学園大学からも学生が参加して、授業を記録しました。学生らは「当時は今より女性の活躍する場が少ない時代である。現在の日本では女性も男性も関係なく学ぶのが当たり前だが、過去には違う価値観の時代があり、今の私達にとって『当たり前』の幸せはそんな時代の上にあるということをお忘れなさい」「現代でもまだ男女平等でない部分もある。この3人の女性の強さを見習って、たくましく、女性の鏡となるような生き方がしたい」という感想を残しました。

夜の眠りに「明日こそは」

朝ドラ『あさが来た』では、成瀬仁蔵がモデルの成澤泉があさの前に現れました。女子教育の必要性に心打たれた「あさ」、いよいよ女子大学設立へと物語は進みます。このドラマの主題歌『365日の紙飛行機』(AKB48)には「♪～思い通りにならない日は明日頑張ろう」という歌詞があります。勉強することを望んでも、働くことを望んでも、新しい事業を始めようとしても、女性には許されない時代。それでも前向きに生きる浅子を象徴するような歌詞です。

もうすぐ卒業を迎える皆さん、希望と同時に不安もあるでしょう。そして、新しい環境になれば、楽しい日だけではないかもしれません。そう、人生は楽しいことばかりではない。悩んだり、苦しんだり、落ち込んだり…そんな嫌なことがあった日でも必ず新しい朝はやって来ます。山陽学園の「日々の教え」にも、こんな言葉があります。

夜の眠りに「明日こそは」

朝のめざめに「今日こそは」

(上代淑先生遺訓「日々の教え」3日)

この山陽学園で学んだ皆さんが「困っている人に手を差し伸べられる人間」であるために、これからも自分を高める努力を続け、愛と奉仕を実践しましょう。

スピリッツニュース第1号【訂正】

前号に誤りがありましたので、訂正いたします。

誤：山陽学園の校歌・学園歌は1898(明治31)年頃、当時校長であった宇野光三郎が讚美歌に日本語の歌詞をつけました。

正：山陽学園の校歌・学園歌は1898(明治31)年頃、当時赴任した宇野光三郎が讚美歌に日本語の歌詞をつけました。

※宇野光三郎(うのみつさぶろう)は教務と事務を担当